

新聞制作コンクール作品募集

鶴ヶ城や飯盛山巡る

会津藩の歴史を学ぶ

珍しい二重らせん構造

合津海丸代目の船平守は、蘇末の親戚していたに、京都守備職という重責を負い、日夜を供され、新選組

新聞は情報の宝庫。さまざまな工夫で多くの情報が分かりやすく伝えられています。

新聞制作は
手書きでも
応募できます

当社が例として作成しました。会津をテーマに歴史や文化食などの情報を盛り込みました。皆さんも、多くのアイデアが詰まった新聞の制作に挑戦してください。

新聞制作のテーマは自由です。地域の文化や歴史、特産物や建造物などの特色、身近な出来事など、探求や調べ学習で学んだことを新聞にしてください。

個人でもグループでも応募が可能です。実際に新聞を制作する場合、多くの人と目で情報 の整理とチェックが行われるので、意見の交換が大切です。

【応募規定】

◆部門…小学校1・2年、小学校3・4年、
小学校5・6年、中学生の4
部門を設け作品を募集する
※小学校1・2年を対象
に単発記事でも受付可

◆体 裁…デジタル、手書きのいずれも可、ページ数不問

◆応募…個人、グループ、学校等
応募単位不問

◆テーマ…不問

◆期 間…2025 年 12 月末日まで応募を受け付けます

【審査】

◆審査基準は記事、紙面の制作力や構成力、創造力など「伝える力」を基準とします

【表彰】

◆各部門で最優秀賞1点、優秀賞3点を表彰する

◆最優秀賞の中からさらに1点を選出し、特別表彰を行います

◇詳しくは「読む力・考える力+伝える力」のホームページをご覧ください

【主催】福島民友新聞社

【後援】 福島県、福島県教育委員会、
福島県市町村教育委員会連絡協議会、
福島県小学校長会、福島県中学校長会、
福島県私立中学高等学校協会、福島県
PTA 連合会

本事業は、一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会（SARTRAS）の共通目的基金の助成を受け実施されています

取材・制作のポイント

取材をする時は、「一番伝えたいこと」「読む人が知りたいこと」を考えます。多くの人の話を聞き、情報を集め、価値を判断することが大事です。

記事を書く時は、「結論を先に書く」「文章はできるだけ区切る」など分かりやすく伝わりやすい文章を考えましょう。新聞制作は、見出しや写真の効果などさまざまな工夫が必ず要です。

記事取材、新聞制作のテクニックを伝える出前講座を受け付けています。費用はかかりません。
問い合わせは読者センター（電話 024-523-1230）へ。

福島民友新聞は、毎日の出来事取材し編集して皆さんに届けられます。地域の出来事、政治、経済、スポーツ、文化などのいろいろな情報を紙面にしています。

多様な方法で情報が入手できる現代社会では、情報を正しく読み解き、伝える力が求められています。

コンクールでは、皆さんが生活の中で体験し感じた出来事が紙面となって表現されると思います。力作を期待しております。

(福島民友新聞社 代表取締役社長)

野崎 広一郎

